



古民家でたっぴりの江戸情緒を～江戸演芸に江戸変化朝顔～



江戸古民家のふじやま公園で、落語や太神楽を楽しめる「にぎわい座出前寄席」が 7 月 15 日(日)に開かれます。またそれに先立ち、今年で 4 年目を迎えた江戸変化朝顔が 6 月下旬から咲きはじめ、ふじやま公園の夏は江戸情緒いっぱい幕を開けます。

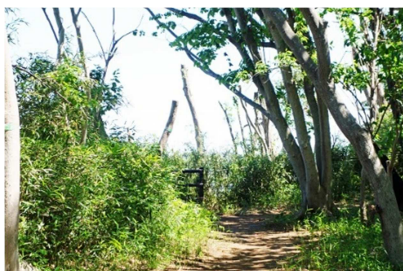
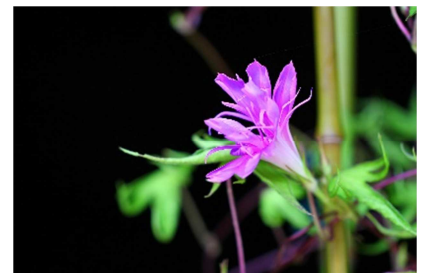
「にぎわい座出前寄席」は横浜にぎわい座（横浜市芸術文化振興財団）と共催で行う落語会で、7 月 15 日午後 1 時 30 分開演。出演は落語の春風亭正太郎と水戸大神楽曲芸の柳貴家雪之介ほか。古典落語など 2 席と、傘や刀、鞠の曲芸など、江戸時代から伝わる芸を堪能して下さい。定員は 80 人、入場料は



1,000 円です。申込みは電話(045-896-0590)またはファクス(045-896-0593)

で住所、氏名、電話番号、人数をお知らせください。後日、入場券引換ハガキを送ります。また特製手打ちそば(30 食限定：300 円)もありますので、同時にお申込み下さい。締切は 6 月 30 日(土)です。

4 年目を迎える江戸変化朝顔は年々面白くなっています。浅い播き箱、ビニールポット、小鉢…と何段階も植え替えを進めて、ようやく展示に値する変化朝顔を育て上げます。7 月上旬からが見ごろの時期ですが、朝顔だけに朝早めにどうぞ。



地上の星、世界に一つだけの花、涙そうそう、鳥取砂丘…などが流行った年が平成 15 年。昔流に言えばそれから一昔半。公園もそれだけ年を取ったわけで、いろいろなところが手直しされている。高くなりすぎた樹木は切られ、枯れそうな木には手厚い保護を施す。それより自然に任せた方がふじやまの里山らしいのではないかと声もあるが…。植林が自然とは違うのは当然だが、放任もまた自然とは少し違う。適度に人の手を入れながら、修復していくのがいいのだろう。適度がちょっと遅くなったのかもしれない。この秋には主屋の茅葺屋根にも手が入る。地上の星がまた輝きを増しそう。



◆五月人形の前で呈茶会～子ども達もたくさん参加しました

新緑から深緑へ、薫風が吹き季節が変わっていく中で大きな鯉のぼりが大人気でした。大きさより高さの方に興味がある男の子もたくさんいて、まさに栄区のシンボル鯉のぼりでした。そして5月5日、



勇壮な五月人形の前で、恒例の呈茶会が行われました。江戸時代の古民家という最高のお茶席に子ども達がたくさん参加。中にはその場で公園の初心者茶道教室を申し込む人もいました。参加した30人はお茶とお菓子と雰囲気をつくり味わっていました。



◆竹林整備は雨のため中止になりました

4月15日に予定されていた一般参加の竹林整備(タケノコ掘り)は雨天のために中止になりました。前日から予報が悪く、事前に中止を連絡したため混乱はありませんでした。応募して、当選された方は残念でしたが、また来年応募してください。

花の公園目指して、いろいろ植栽中、お楽しみに

ことしの大きな目標「花のある風景」を目指して、園路のいろいろな花木を植栽中です。まず長年の夢でもあったフジ棚が3月に完成し、4月26日には石井造園寄贈の2本のフジの木が植えられました。5月24に区長を招きお披露目をします。また元大橋口から下ってきた右側にはミツバツツジ、長屋門前の石橋を渡ったところにはドウダンツツジが数十本植えられます。満天星と書くトウダンツツジは花も紅葉もたのしめます。



むかしの道具 鉄瓶



鉄瓶は鑄鉄でつくられ、直接火にかけて湯茶を沸かす用具です。土瓶と同じような形状の胴に、注口(つぎぐち)と鉤(つる)が付属しています。蓋(ふた)は胴と同じく鑄鉄製か、銅製です。胴には霞などの地文を鑄出しています。

鉄瓶の元祖は、茶の湯に用いる釜の一種の手取(てどり)釜であるとか、江戸時代中期に、南部藩の釜師が初めて製造した土瓶形の茶の湯釜であるとか、京都で薬湯用の陶製の土瓶からヒントを得て製作されたとか諸説あります。いずれにせよ、鉄瓶自体が完成し普及したのは江戸時代に入ってからのものであり、その名称は、江戸中期以降に一般的になったといわれています。主産地としては、京都・大阪のほかに、岩手県の盛岡が著名であり、「南部鉄瓶」とよばれています。

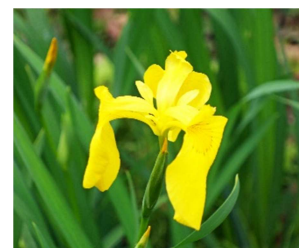
現在の一般家庭では湯沸かしはアルミ製かステンレス製のヤカンか、電動ポットになり、鉄瓶は姿を消しました。古民家主屋の囲炉裏の自在鉤にかかっています、確かめてください。

ふじやまだ公園の植物

キシノウズ アヤメ科

キシノウズはアヤメ、ハナシノウズなどと同じアヤメ科ですが帰化植物です。繁殖力が強く、野生化してどこでも見られ、ふじやま公園では長屋門前園路の側溝にみられます。花茎の高さは60～100 cm、葉は幅2～3 cm、長さ60～100 cm。花期は5～6月で、アヤメやノハナシノウズと同じです。菖蒲（シノウズ）に似た葉を持ち、黄色い花を付けるので、キシノウズの名になりました。

シノウズ、アヤメともに漢字の菖蒲が充てられています。しかし本来のシノウズはアヤメ科ではなく、サトイモ科の植物で、花も異なり、匂いが良いので五月の端午の節句に菖蒲湯として使われます。アヤメ科のキシノウズやハナシノウズとは別物です。



『いろいろ辺雑記』 から（原文のまま）

- ◆ 最近では機械類がふえているけれど、古民家ふじ山公園に来ると、「ふるさとだな～」と感じ、楽しいひとときすごせます。とても良かったです。また来ます!!（市内 10代 家族と行事で）
- ◆ お花見の会に来て、地元で狐踊りが伝わっていることを初めて知り、感慨深く見ました。（市内 60代 一人で）

平成30年6月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	2日(土)	古民家歴史部会 部会	10日(日)
農芸部会 部会	18日(月)	古文書解読勉強会	3日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(水)
里山部会 作業	9日(土) 16日(土)	クリーンアップ	5日(火) 19日(火)
	24日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	27日(水)	ふじやまだより編集会議	9日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	12日(火)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	30日(土)

《 ふじやまだより編集部員急募 !! 》

広報紙編集部員を緊急募集しています。興味のある方は、公園事務所(TEL 045-896-0590)まで編集会議や印刷の見学も大歓迎です。

同時に他の部会員の募集も行っています。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作 (小学生)	6月17日(日)10時～11時	～空びんで キラキラボトル作り～	無料	当日受付 10名
押し絵 (全3回)	7月2日(月)、13日(金) 20日(金)、13時～16時	ミニ色紙で「朝顔」と「ぶどう」を 作ります	1,500円	6月20日(水) 12名
フラワー アレンジメント	7月19日(木) 13時～15時	さわやかな夏色リース	2,000円	7月3日(火) 8名
初心者茶道 体験教室	7月21日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなしの 心を学びましょう	500円	6月30日(土) 5名
里山の そば打塾	7月28日(土) 10時～12時30分	手打ちそばの基本を学び、 美味しいそばを打ち、自分で 打ったそばを試食します	900円	7月13日(金) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名(実施日も)氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、
電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話を楽しみましょう

日 時：6月21日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端

定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 体験教室作品展

体験教室講師の皆さんの作品を古民家主屋内に展示します。

日 時：5月21日(月)～27日(日) 9時～17時(21日は13時から、27日は16時まで)

場 所：古民家主屋上座敷、中座敷、仏間

出展作品：押し花絵、創作人形、粘土工芸、絵手紙、パステルシャインアート、押し絵、
デコパージュ、七宝焼、子ども工作

★ わんこソーメン流し(予告)

青竹の水流にカップ入りのソーメンを流します。

日 時：7月8日(日) 11時から

場 所：古民家前庭

定 員：150名 200円

申込方法：参加者の待ち時間を少なくするため事前申込み制とします。

詳細は次号でお知らせします。

4月ふじやま公園古民家来園者数 2,232名 30年度累計 2,232名

・開 館 時 間： 9時～17時
・入 館 料： 無 料
・休 館 日： 毎月第1水曜日(6月6日)
・ク リ ー ン ア ッ プ： 毎月第1・3火曜日(6月5日・19日) 10時～11時

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593